

## 4 結露の防止

### (1) 「結露」とは

冷たい水の入ったコップを温かい室内に置いておくとコップの表面に水滴がつくことがあります。これは空気中の水蒸気がコップの冷たい部分に触れて水滴に変化する「結露現象」によるものです。

この現象は、住宅の内壁やガラス面でもよく起こり、特に冬期間の外気が極端に下がっている時期には、発生した水滴が壁や天井を汚したり、家具や衣類に損傷を及ぼしたりすることになります。

ひどいときには、天井に水がたまり雨漏りのような状態になるときもあります。

また、カビの原因にもなります。

普段の住まい方が、結露の発生に大きく関わってきますので、常日頃から気を配り快適な生活を送れるように心掛けましょう。

### (2) 結露を防ぐには

#### ア 空気の入替をする

コンクリート住宅は、木造住宅に比べて機密性が非常に高いため、隙間風がなく暖かいのですが、同時に部屋の中の水蒸気も外に出にくくなっています。

意識して、換気をすることが必要です。

#### イ 水蒸気の発生を少なくする

煙突・排気筒のないストーブは使わない、洗濯物はよく脱水してから干すなど、普段の生活から、水蒸気の発生を少なくすることが大切です。

また、発生させた水蒸気は換気扇などを回して外に出すように心掛けましょう。

#### ウ 室内を開放的にする

各部屋の温度の違いが大きいほど結露は起きやすいのです。

そのため、陽がさして暖かい時は、ふすまや扉を開けて、各部屋の温度のむらをなくし、寒い部屋をつくらないように心掛けましょう。

#### エ 室内の空気の流れを良くする

タンスなどの家具は壁、床から少し離し、空気の流れを良くしましょう。

この場合、地震の時の転倒防止措置も必要です。

#### オ 室内の温度・湿度に気を付ける

湿度が同じでも室温が低いと結露が発生しやすくなります。

温湿度に注意して、快適な状態をつくるように心掛けましょう。

### (3) それでも結露が起これたら

#### ア まずは拭き取りましょう。

空気の流れを良くし、部屋全体を乾燥させましょう。

#### イ 部屋の空気だけを一度や二度入れ替えただけでは結露は止まりません。

その都度、拭き取り、根気よく部屋の湿気を繰り返し外に出すように心掛けま

しょう。

ウ 結露を放置すると凍りつくことがあります。

こうなると窓ガラスや壁を傷つけないように氷を取り除くしかありません。

この際、お湯をかけて溶かしたりしてはいけません。お湯が壁を汚したり、階下まで流れ込んだりして、再び凍りついてもっとひどい状態になります。

氷は氷のまま取り、それでも残った氷は徐々に暖めて（例えば、ヘアドライヤー・布団乾燥機など）拭き取っていく根気強い対応が必要です。

#### (4) 24時間換気扇について

一部の住宅には24時間換気扇が設置されています。24時間換気扇は住戸内の空気を外に出し、冷たさを抑えた外気を室内に取り入れるシステムです。

このシステムの電源を切ったまま生活しますと前述しました「結露」が発生する要因となりますので、必ず常時電源を切らずに生活してください。

ただし、このシステムの換気能力以上に湿気・水蒸気を大量に発生させますと「結露」が発生しますので、常日頃から温湿度に注意して、快適な環境をつくるように心掛けましょう。

また、換気能力の維持・故障防止のため、半年に1回程度は掃除機等でフィルターを清掃するようにしてください。